

平成24年度活動報告

- 家庭用燃料電池の普及拡大
 - 家庭用燃料電池「エネファーム」の販売が急増(2012年度全国で2.7-2.8万台の見込み)
 - 家庭用SOFC「エネファーム type S」の販売を開始
- 技術研究所トピックス
 - スマートエネルギーに関する取組みが加速
 - 技術研究所にてスマートハウス実証、スマート集合住宅実証を開始。
- 固体酸化物形燃料電池(SOFC)の研究開発
 - 小型業務用(5～10kW)SOFCの実用化に向けた取組み(継続)
- その他対外活動(水谷)
 - ①招待講演・依頼講演
 - 10th CMCEE (International Symposium on Ceramic Materials and Components for Energy and Environmental Applications), “Progress of residential SOFC system and technology in Japan”
 - 豊橋TLC再生可能&省エネルギーセミナー、「燃料電池の開発動向と課題」
 - 日本セラミックス協会秋季シンポジウム「家庭用燃料電池の開発動向と将来に向けての取組み」
 - ②外部活動
 - 世界ガス連盟(IGU)ガス利用分野(WOC5)委員、世界ガス会議(WGCC2012)開催
 - 燃料電池実用化推進協議会(FCCJ)SOFCサテライトワーキング主査、次期国プロ政策提言

トピックス



技術研究所 スマートエネルギーハウス



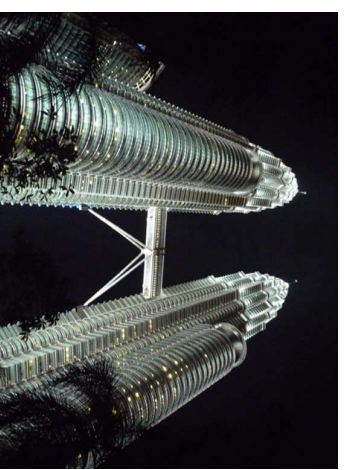
岐阜市 スマートエネルギーハウス(集合住宅)



エネファームtypeS(家庭用SOFC) 販売開始



10thCMCEE (Dresden)



WGCC2012 (Kuala Lumpur)